

令和 7 年度

事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

【目次】

I. ソフトテニスの普及振興事業

1 大会開催および運営に関する事項	1
2 地域大会の支援	1
3 加盟団体への支援	1～2
4 広報活動の推進	2
5 各種資格等の制度推進と認定	2～3
6 各種表彰、顕彰事業の実施	3
7 用具・用品・施設の公認	3
8 傷害補償制度	3
9 競技人口の増加対策	3～4
10 医科学研究事業の推進	4
11 アンチ・ドーピング活動の推進	4
12 テニスパーク棚倉の活用	4
13 全国会議・研修会の開催	4
14 能登半島地震復興支援について	4
15 100周年記念事業の実施	5

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1 競技力向上事業の推進	5～6
2 ソフトテニスの指導者育成	6～7
3 全国的な指導者研修会の実施	7

III. ソフトテニスの国際振興事業

ソフトテニスの国際振興事業	7
---------------	---

【各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策】

1 青少年の健全育成および環境教育の取り組み	7
2 暴力根絶の徹底	7～8
3 体制の強化	8
4 会員登録制度の推進	8
5 財務計画の策定と財源確保	8
6 事務局の移転について	8
7 中期基本計画の推進、ならびに長期基本計画(未来構想)に基づく事業の検討と推進	8

(庶務事項)

1 会議等の開催に関する事項	8～9
2 会員登録に関する事項	9
3 分担金に関する事項	9
4 補助金・助成金等に関する事項	9
5 協賛金・寄付金に関する事項	9
6 傷害補償制度の給付金に関する事項	9
別表 1～38	9～32
別冊 ・役職員名簿 ・表彰者名簿 ・ランキング名簿	

令和 7 年度事業報告書

ソフトテニスの普及振興を図り、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、「ソフトテニスの普及振興事業」「ソフトテニスの競技力向上事業」「ソフトテニスの国際振興事業」の 3 つの柱に加え、「組織・財政基盤の強化」を推進し、定款に定められた事業を推進した。特に、連盟創立 100 周年記念式典を実施し、中期財務方針およびソフトテニスの次の 100 年に向けた「Mission・Vision・Value (MVV)」を策定し、公表した。また、会員登録料を値上げし、財政基盤の強化を行った。さらに、ST リーグなど主催大会の改善に向け、企業等へのアンケート調査を実施し、当事者からの情報を収集した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. 大会の開催および運営

- (1) 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。〈別表 1〉
- (2) 国際ルールに準拠し「コイントス」の採用を令和 8 年度大会より組み入れることとした。
- (3) 天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会（以後、全日本選手権大会）を開催地と連携した実行委員会を編成し、開催した。関係各位に協賛・寄付を募り、多くの方にご協力いただいた。〈別表 37〉また、会場においてソフトテニス体験イベントを実施し、ヨネックススポーツ振興財団の補助を得た。なお、開催地の固定化実施に向けた調整については、東京開催を1年延長し、令和 8 年度も東京の有明での開催となる。
- (4) これまで夏季に開催していた全日本小学生選手権大会を、暑熱対策として令和 9 年 3 月の春休み期間中に開催することとした。
- (5) 大会運営体制について費用対効果を考察するとともに、大会の規模や開催方法について継続検討することとした。
- (6) ST リーグの社会に向けたアピールが未だ十分でないことから、継続検討することとした。
- (7) 全日本選手権大会の参加数削減について検討し、令和 8 年度大会より実施することを決定した。
- (8) 日本スポーツ協会公認コーチ資格の取得を促した。
- (9) 全日本小学生選手権大会・全国小学生大会におけるベンチコーチについて、熱中症対策の観点からも必要と判断し、許可した。
- (10) 全日本中学生クラブ選手権プレ大会を開催した。この事業についてはヨネックススポーツ振興財団の補助を得た。なお、令和 8 年度以降は 11 月に開催することとし、第 1 回大会を千葉県にて開催する。
- (11) 日本スポーツ振興センター (JSC) の助成を得て下記大会を実施した。
 - ① JOC ジュニアオリンピックカップ／第 32 回全日本ジュニア選手権大会
 - ② 第 80 回全日本選手権大会

2. 地域大会の支援

地域等における競技会開催の支援として補助金を交付した。〈別表 2〉

3. 加盟団体への支援

- (1) 地域クラブ、ジュニアクラブ等へ育成および運営支援のため、前年度の会員登録料より、一般 20%、大学 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%の還元率により算出し、各加盟団体に対して助成を行った。

(2) 各加盟団体事業を推進するための補助金制度を継続して実施した。

- ・小学生大会への補助を 44 都道府県に対して実施した。
- ・中学生大会への補助を 45 都道府県に対して実施した。
- ・ソフトテニス愛好者増加対策事業への補助を 46 都道府県に対して実施した。
- ・地域におけるソフトテニス振興と競技力向上に向けた支援のため、神奈川県へナショナルチーム選手を派遣した。〈別表 3〉

(3) 運動部活動の地域移行の推進

各加盟団体等における中学校部活動の地域展開・地域連携を推進するため、登録人口問題対策委員会において地域クラブ設置、指導者確保、大会機会の整備、休日活動支援を柱として議論を進めた。令和 6 年度は、地域クラブ設置推進事業、指導者確保・資質向上事業、レクリエーション志向大会事業、休日活動支援事業を実施し、7 団体に助成金を交付したが、地域差が課題として残されていた。令和 7 年度は、補助金交付実績が 9 団体、総額 1,555,093 円となり、事業活用が前年度より拡大した。また、委員会での検討を通じて、競技志向大会事業を新たに加えた 5 事業へと整理が進み、令和 8 年度事業計画及び交付要綱案に反映されたことは本年度の大きな成果であった。

(4) 関係委員会・加盟団体担当者による具体的な取組の検討

登録人口の減少を食い止めるため、関係委員会等との連携を前提に、加盟団体や地域現場の課題を踏まえた具体策の検討を進めた。第 1 回から第 5 回までの会議では、小学生登録人口の増加対策案、小中学生向けプロモーション、市区町村レベルでの実践方策、普及体制の在り方について継続的に整理を行った。さらに、10 月には小中学生登録人口推進会議を開催し、SNS・メディア活用、親子・レクリエーション型事業、指導者確保、活動場所確保、地域クラブ整備等について、全国的な課題共有と方策の検討を行った。これらの議論は、普及推進本部構想を経て、令和 8 年度における普及計画委員会の設置および全国担当者会議の実施へとつながった。

4. 広報活動の推進

(1) 全日本選手権大会において、NHK ダイジェスト放送、YouTube Live の実施を行った。

YouTube 配信では、元ナショナルチームの選手を解説に起用することで、引退後の選手の新たな活躍の場を創出するとともに、選手目線に近い専門的な解説により、視聴体験の質を向上させた。YouTube 年間視聴回数:9,259,201 回、チャンネル登録者 42,931 人(前年度より 9,291 人の増)

(2) 外部の専門人材に部分的な業務委託を行い、HP、SNS、YouTube、および新聞・雑誌を連携させた積極的な広報を展開し、多角的な情報発信を推進した。

(3) 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会に向け、メディア関係者との良好な関係を構築し、積極的な情報開示を通じて、メディア露出の獲得および維持を図った。メディア向け説明会(アジア競技大会選考方法について)を令和 8 年 1 月 22 日に開催した。

(4) ホームページ改定に向けた検討および構築

情報発信の最適化に向け、ホームページの改定を検討し、サイト構築を推進した。年度末時点で約 80%の構築を完了し、次年度 5 月の開設に向けた確実な進捗を図った。

5. 各種資格等の制度推進と認定

(1) 技術等級・審判員制度および指導等級制度に基づいた資格認定を行った。〈別表 4〉

〈別表 5〉

- (2) 1 級審判員の養成のため、検定会（新規取得）・研修会（資格更新）を行った。〈別表 6〉
- (3) ソフトテニスハンドブック、採点票等を販売した。〈別表 7〉
- (4) 審判員資格認定料の見直しについては、令和 8 年度に継続検討することとした。
- (5) 国際審判員養成のため研修会を実施し、（公財）日本オリンピック委員会（JOC）の民間スポーツ振興費等補助事業として海外大会への派遣も実施した。
- (6) 技術等級有資格者の増加を図り、今後、大会参加の際に義務付けることを検討した。一部の資格の認定料を改定し、令和 8 年度から実施することとした。
- (7) （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度有資格者の増加を図るため、養成講習会を実施した。
 - ① スタートコーチ養成講習会の開催は、次のとおり。
北海道、秋田県、山形県、茨城県、石川県、岐阜県、兵庫県、山口県、
宮崎県、鹿児島県
 - ② コーチ 1 養成講習会の開催は、次のとおり。
宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、千葉県、東京都、新潟県、
長野県、富山県、石川県、静岡県、愛知県、京都府、広島県、山口県、
香川県、徳島県、愛媛県、福岡県、大分県、沖縄県

6. 各種表彰、顕彰事業の実施

- (1) 規程に基づき大会入賞者を表彰した。
- (2) 本部功労および各支部から推薦の功労者・優良団体の表彰を行った。
〈別冊：表彰者名簿〉
 - ① 本部功労者 3 名
 - ② 支部功労者 88 名
 - ③ 優良団体 37 団体

7. 用具・用品・施設の公認

愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう、適切な用具・用品・施設の使用を推進した。また、ソフトテニスメーカー会からの要望もあり、ラケットに貼付してきた公認マークを令和 8 年度より廃止することとした。

- (1) ラケットの公認
公認事業者より申請されたラケット 9 機種を公認した。
- (2) 公認事業者の更新
令和 7 年度公認事業者一覧は〈別表 8〉のとおり。
- (3) ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。〈別表 9〉

8. 傷害補償制度の推進

受傷者からの申請に基づき、給付金の交付を行った。〈別表 32〉
要領の表現や書式の見直しについて、引き続き検討していくこととした。

9. 競技人口増加対策の検討

令和 7 年度は、ソフトテニスの永続的な発展と持続可能な組織体制の強化に向け、競技人口の減少要因と今後の会員増加策について検討を進めた。特に、小学生、中学生から

意見を収集し、課題を整理した。その結果、競技人口増加には、未経験者がソフトテニスに触れる入口づくり、小・中・高・大学・一般へと継続できる活動導線の整備、地域クラブ活動との連携、指導者・保護者・地域人材の参画促進が重要であることを確認した。また、令和 8 年度の普及計画委員会設置を見据え、関係委員会、加盟団体、所属団体と連携しながら、体験機会の創出、継続支援、広報発信、地域の担い手づくりを重点的に進める方向性を整理した。

10. 医科学研究事業の推進

(1) トレーナー活動

①大会のオフィシャルトレーナーとして、試合中のタイム取得時の傷害対応、参加選手へのテーピング対応等を行った。アジア選手権大会日本代表予選会(宮城県: 4/26-27)、全日本シングルス選手権大会(宮崎県: 5/17-18)、全日本ミックスダブルス選手権大会(広島県:6/14-15)、全日本実業団選手権(青森県: 7/25-27)、全日本社会人選手権(北海道: 8/30-31)、ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会(広島県:10/18-19)、全日本シニア選手権大会(兵庫県京都府: 9/20-21)、全日本選手権大会(東京都: 11/6-8)、ST リーグ(栃木県: 12/12-14)、全日本インドア選手権大会(大阪府:2/2)において実施した。

②第 8 回トレーナー研修会をオンラインにて開催した。(2/21)

(2) スポーツ科学部会

スポーツ科学部会として、以下の事業を推進した。

- ・スポーツ科学部会の開催(2025 年 11 月)
- ・トータルスポーツクリニック事業での測定・分析(令和 8 年 2 月)
ヨネックススポーツ振興財団の補助を得て実施した。
- ・医科学報告書の作成(令和 8 年 3 月)
- ・指導者養成講習会への講師派遣

11. アンチ・ドーピング活動の推進

トップレベルの選手だけでなく、コーチ1～3の受講生などを通じて、理解と実行を深めていくこととし、最新の情報も SNS を通じて発信していくこととした。また、アウトリーチ活動については、日本スポーツ振興センター(JSC)の助成を得て継続実施し、幅広い対象にアンチ・ドーピングへの理解を深めてもらう機会とした。

12. テニスパーク棚倉のあり方の検討

ハードコート対策として強化事業での活用およびアジア競技大会代表予選会を開催した。今後の活用等については引き続き検討していくこととした。

13. 全国会議・研修会の開催

令和 7 年度において、指導者、選手、評議員および理事監事に対しコンプライアンス研修を実施した。意見交換や課題協議などの会議開催は、翌年度において検討することとした。

14. 能登半島地震復興支援について

ヨネックススポーツ振興財団の補助を得て、能登半島地震復興支援として「頑張ろう能登！ソフトテニス応援イベント」を開催した。石川県連盟の協力を得て、約 250 人の小学生・中学生・高校生の参加により盛大に実施した。

15. 100 周年記念事業の実施

100 周年を記念して募集し決定したシンボルマークについては、各大会会場で掲揚される旗として示す一方、大会ドローほかパンフレットなど日本連盟の印刷物に掲載するなど随所で活用した。令和 7 年 6 月 21 日には記念式典を実施し、国内外より多くの参加を得て盛大に開催することができた。これからの 100 年に向け、MVV および中期財務方針の公表を行い、より一層の普及振興に邁進することとした。また、関係各位より寄付金等のご協力をいただいた。〈別表 38〉

II. ソフトテニスの競技力向上事業

国際大会で活躍し、また我が国が世界のソフトテニス界をリードすることができるチームの育成を行った。あわせて将来の日本代表となる選手の育成、発掘のための競技者育成プログラムを推進し、ソフトテニス界の国際的なリーダーとなり得る人材の育成を行った。

1. 競技力向上事業の推進

(1) 競技者育成プログラムの推進

・競技者育成プログラム Step-3 について 〈別表 10〉

① 日程調整とコンディショニングの配慮

全国中学校大会直後の過密日程を回避するため、選手のコンディショニングを最優先とし、中 1 日以上 of 休息を設ける方針で調整を行った。一部のブロック(3 ブロック)では 1 泊 2 日の開催となった。

② 安全対策(熱中症対策)の強化

暑さ指数(WBGT)に基づき、「28℃以上: 厳重注意」「31℃以上: 運動は原則中止」という明確な基準に則った対応策を協議し、実行した。また、万全の救護体制を敷くべく、日本連盟医科学委員会と連携し、医療従事者の帯同およびその派遣経費の支部推進費による執行を確認した。

③ 荒天中止等による選考への影響を最小限に抑え、評価の公平性を保つための留意点を明文化した選考基準を策定し、令和 8 年 2 月 14 日の理事会で議決・承認を得た。

④ 検定項目の点数配分変更について、ゲーム点においてダブルスとシングルスと同配点(10 点)とし、ストロークを 10 点(5 点減)に変更した。

⑤ 競技者育成プログラム Step-1～3 については、日本スポーツ振興センター(JSC)の助成を得て実施した。

・競技者育成プログラム Step-4 について

① 指導・連携体制の強化のために、本年度は宿泊施設を男女分宿とした。男女の日本代表監督による講義を実施するとともに、各カテゴリー監督間の円滑なコミュニケーションを図り、一貫指導体制の強化に努めた。

② 小学生カテゴリーの選考基準の見直しについて、全日本小学生選手権大会の開催

時期変更に伴い、大会実績に基づく推薦枠の整合性を保つため、選考基準の改訂に向けた協議を行った。

③ジュニアジャパンカップの再編計画「JOC ジュニアオリンピックカップ・全日本ジュニア選手権大会」と「ジュニアジャパンカップ」の統合については、令和10年度以降の実施を目標に検討を継続する。

- (2) 日本代表チーム、ナショナルチーム、全日本アンダーチームの強化合宿をそれぞれ行った。チームジャパンが一丸となって強化を推進できるよう、常に連携を取り一貫指導体制を強化した。〈別表 11〉 強化事業の実施については、日本オリンピック委員会(JOC)の選手強化 NF 事業補助金およびヨネックススポーツ振興財団の補助を得て実施した。
- (3) テニスパーク棚倉を使用した強化合宿のハードコート実施、また開催時期や選手のスケジュールに合わせ、各都道府県に協力いただき、状況に合わせ、プレイヤーズセンタードにより様々な会場で合宿を実施した。
- (4) 国際大会など海外への選手・スタッフの派遣を行った。〈別表 12〉 〈別表 13〉 一部の大会についてはヨネックススポーツ振興財団の補助を得て実施した。
- (5) 強化スタッフの大会視察派遣を行い、報告書を用いてチームジャパンのスタッフで意見交換も行った。国際大会で活躍し、また我が国が世界のソフトテニス界をリードすることができるチームの育成を行った。あわせて将来の日本代表となる選手の育成、発掘のための競技者育成プログラムの推進をはかった。ソフトテニス界の国際的なリーダーとなり得る人材の育成を図った。〈別表 14〉
- (6) アンチ・ドーピング教育の推進
 - ・各カテゴリー合宿でアンチ・ドーピング活動に関する講義を実施した。
 - ・選手の服薬に関するチェックを実施した。
 - ・アウトリーチとして教育啓発活動を行った。この事業については日本スポーツ振興センター(JSC)の助成を得て実施した。
- (7) 情報収集を行い、分析結果を強化事業に活用した。
- (8) 医学研究に関し、必要に応じて強化事業において活用した。
- (9) 医学部会のサポート
 - ・国内トップレベルの選手に対し医学チェックを行い、個人面談を含めたケガへの対応をおこなった。
 - ・各カテゴリー合宿において講義を実施した。
 - ・選手カルテをチェックし、選手の服薬チェックを実施した。
- (10) ナショナルチーム、全日本アンダーチームの選手および監督等の指導者に対して、倫理コンプライアンス研修を実施し、トップアスリートとしての人間力向上とサポート体制の強化を図った。

2. ソフトテニスの指導者育成

公認指導者の増加とその資質や指導力の向上を図るとともに、指導者の活動促進および指導体制の確立を目的として、以下の事業を行った。

- (1) スタートコーチ養成講習会を10会場で、コーチ1養成講習会を22会場で開催するなど、積極的に公認スポーツ指導者の増加を図った。
- (2) より上位の資格であるコーチ3およびコーチ4養成講習会を開催し、指導者の資質の向上を図った。日本スポーツ協会(JSPO)の委託事業として実施した。
- (3) ナショナルチームおよびアンダーチームの指導者に対して、倫理コンプライアンス研修を実施し、組織的なコンプライアンス強化に取り組んだ。
- (4) 日本スポーツ協会(JSPO)の指導者マッチングサイトを活用して、希望に沿える指導者を

紹介出来るシステムの推進を図った。

(5) 指導教本を最新の内容に改訂し、令和7年4月から新たな指導教本を発刊した。

(6) コーチ2およびコーチ3の有資格者増加対策として、国民スポーツ大会の監督資格を現行のコーチ1から引き上げることにについて検討し、今後、数年間で対応することとした。

3. 全国的な指導者研修会の実施

令和7年度においては、中学校の運動部活動地域展開という課題に加え、小中学生の登録人口推進について、ミズノスポーツ振興財団の補助を得て全国会議を実施した。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

(1) アジアソフトテニス連盟(ASTF)内での日本ソフトテニス連盟からの役員ポジション確保を行い、国際戦略を検討するとともに、国際普及活動への関与を深めた。

(2) 第10回アジア選手権大会(2028年)の日本国内開催について、ASTF内の承認を得、開催計画策定に着手した。また、国際ランキング制度の導入の検討を開始し、想定される問題点を検討したのち提案する予定である。

(3) 愛知・名古屋2026アジア競技大会の参加国を増やすとともに、終了後も正式種目として継続し、いっそうの参加国拡大に向けて、効果的なターゲット選定と情報収集を行った。用具・用品の提供、支援に関する長期的計画のもと、令和8年度より実施する。なお、令和6年度に国際普及のための動画を制作したので、今後活用していく。

(4) オリンピック参入の前提条件となるARISF(IOC承認国際競技連盟連合)への参加に関する調査を行った。今後は、国内外のスポーツ界の動きを確認しながら、調査を継続する。

〔各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策〕

各事業を推進するためには、組織と財政基盤の強化、組織の健全運営が必要となる。共通施策として、次の事業を実施した。

1. 青少年の健全育成および環境への取組

(1) スポーツパーソンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

強化チーム選手および指導者を対象にコンプライアンス研修会を実施した。スポーツ活動を通して育成するという観点のもと、翌年度以降も継続実施することとした。

(2) 環境への取組

大会プログラムに環境宣言・フェアプレイ宣言を掲載した。また、横断幕の掲示および推進を行った。

(3) 指導者研修会や審判検定会・研修会においてマナーブック抜粋版を活用し、観客および応援者にソフトテニスを楽しむためのマナーを周知した。

(4) JOCなどのカンファレンスに参加し、他団体の取り組み内容に関する調査を実施した

2. 暴力やハラスメント等の不適切行為の根絶

(1) JOCのNF総合支援センターが主催するコンプライアンス研修会を利用し、日本連盟の役員に対するコンプライアンス研修を実施した。

(2) 2月の臨時評議員会において当連盟の役職員だけでなく、加盟団体の評議員に対して倫理コンプライアンス研修を実施し、中央競技団体としてのコンプライアンス強化を図った。

(3) 新たに設置した内部通報窓口を運営し、通報の処理については顧問弁護士の助言を得ながら対応した。

(4) コンプライアンス研修および内部通報制度の推進、関連規程の整備については組織基盤

強化事業として日本スポーツ振興センター(JSC)の助成を得て行った。

3. 体制の強化

- (1) ガバナンスコード遵守のため体制および規程の整備を行った。
- (2) 加盟団体におけるガバナンスおよびコンプライアンス強化のため、評議員を対象としたコンプライアンス研修を実施した。
- (3) 運営本部が中心となり、各委員会が担当する業務を俯瞰する中で、改善すべき点を選択して力を注ぐ効率的な組織運営に取り組んだ。
- (4) 人材育成計画について

事務局体制強化のため、人材育成基本方針を策定した。人材の確保、職員研修の計画、職場環境の健全性の確保を図り、人材マップの作成や評価制度などの見直しについて検証することとした。新規に職員を採用したが、今後は業務の専門性と部署ごとの連携を検討した上で採用することとする。

4. 会員登録制度の推進

運営基盤の確立と競技人口把握のため、会員登録制度の検証と見直しを検討し、令和7年度より会員登録料を一部改訂した。新たなシステムへの移行初年度となり、加盟団体に理解を得るための説明会を開催し、導入後もフォローアップミーティングを行った。会員登録者を対象として、試合参加中のケガに対して傷害補償金を支給した。〈別表 32〉

5. 財務計画の策定と財源確保

持続可能な組織運営とソフトテニス競技の発展を目指すため、今後数年間の財務運営に関する基本的な考え方に基づき、中期財務方針を策定した。収支均衡と事業規模の維持、収入構造の転換と多様化、重点領域への資源配分と効率的な支出、今後強化する活動の4項目に分類して方針を定め、変化する社会情勢に柔軟に対応し、健全な財政基盤を確立することで、ソフトテニス競技の持続的な発展と普及に貢献することとした。

6. 事務局の移転について

令和8年3月に東京都品川区大井町より、東京都新宿区にある JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE(JSOS)に移転した。JSOSビル内のJOC、JSPOのほか他のNF等と情報交換することで、国際化に向け積極的な活動を行い、またスポンサーによる収益を上げている競技団体の情報等を対面にて取得するためのネットワークの構築を推進する。旧事務局の売却(令和8年度にて実施)により得た資金については新事務局の賃借料や維持管理に要する費用に充当していくこととする。

7. 中期基本計画および長期基本計画への対応

MVVを基盤にして、中期基本計画(2022年度～2026年度)および長期基本計画(未来構想)(2022年度～2041年度)を踏まえた活動を実施し、課題に対して対応した。全日本選手権大会において新たなスポンサーと契約できたほか、観客数も増加して収益が上がった。

〔庶務事項〕

1. 会議等の開催に関する事項

- (1) 評議員会 〈別表 15〉
- (2) 理事会 〈別表 16〉
- (3) 運営本部会議/業務執行理事会 〈別表 17〉〈別表 18〉
- (4) 専門委員会・部会 〈別表 19〉

(5) 会計監査 〈別表 20〉

2. 役員・事務局職員等に関する事項 〈別冊:役員・職員等名簿〉

3. 会員登録に関する事項

会員登録数は〈別表 21〉のとおり。

4. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金 一律 150,000 円×50 支部 7,500,000 円

(2) 会員登録料は〈別表 22〉のとおり。

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー 〈別表 23〉

イ. 施設業者 〈別表 24〉

ウ. 一般 〈別表 25〉

5. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 補助金 〈別表 26〉

(2) 助成金 〈別表 27〉

(3) 交付金 〈別表 28〉

(4) 委託金 〈別表 29〉

6. 協賛金・寄付金に関する事項

(1) 協賛金 〈別表 30〉

(2) 寄付金 〈別表 31〉

7. 傷害補償制度に関する事項

(1) 傷害補償金の給付件数 〈別表 32〉

〈別表1〉

主催大会	開催地	日程
第9回 アジア選手権大会日本代表予選会	宮城県仙台市	令和7年4月26日(土)・27日(日)
第32回 全日本シングルス選手権大会	宮崎県宮崎市	令和7年5月17日(土)・18日(日)
第6回 全日本ミックスダブルス選手権大会	広島県広島市、 安芸郡、福山市	令和7年6月14日(土)・15日(日)
男子第70回・女子第69回全日本実業団選手権大会	青森県青森市	令和7年7月25日(金)～27日(日)
第42回 全日本小学生選手権大会	茨城県神栖市	令和7年7月31日(木)～8月3日(日)
第53回 全日本社会人選手権大会	北海道苫小牧市、 室蘭市、 札幌市	令和7年8月30日(土)・31日(日)
全日本中学生クラブ選手権プレ大会	千葉県白子町	令和7年9月13日(土)～15日(月)
第29回 全日本シニア選手権大会	兵庫県神戸市 /京都府福知山市、 舞鶴市	令和7年9月20日(土)・21日(日)
JOC ジュニアオリンピックカップ/ 第32回 全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市	令和7年10月18日(土)・19日(日)
第3回 STリーグⅡ	京都府福知山市	令和7年10月24日(金)～26日(日)
第32回 全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	令和7年10月25日(土)・26日(日)
第80回 天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会	東京都江東区	令和7年11月6日(木)～8日(土)
第3回 STリーグ	栃木県宇都宮市	令和7年12月11日(木)～14日(日)
STリーグ／プレーオフ	広島県福山市	令和7年12月19日(金)～21日(日)
第71回 全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	令和7年2月8日(日)
第20回 アジア競技大会日本代表予選会	福島県棚倉町	令和8年3月20日(金)～22日(日)

共催大会	開催地	日程
第54回 ハイスchoolジャパンカップ	北海道札幌市	令和7年6月18日(水)～22日(日)
西日本シニア選手権大会	和歌山県和歌山市、 白浜町	令和7年7月5日(土)・6日(日)
第79回 西日本選手権大会	奈良県明日香村/ 京都府宇治市	令和7年7月12日(土)・13日(日)
第80回 東日本選手権大会	富山県	令和7年7月19日(土)・20日(日)
全日本高校選手権大会(男子)	山口県宇部市	令和7年7月24日(木)～27日(日)
全日本高校選手権大会(女子)	山口県宇部市	令和6年7月28日(月)～31日(木)
第52回 全日本レディース大会(個人戦)	三重県四日市市、 鈴鹿市 他	令和7年7月26日(土)・27日(日)
第56回 全国中学校大会	熊本県熊本市	令和7年8月19日(火)～21日(木)
第47回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	福島県会津若松市	令和7年8月30日(土)～31日(日)
全日本学生選手権大会	千葉県千葉市	令和7年8月29日(金)～9月3日(水)
日本スポーツマスターズ 2025	愛媛県今治市	令和7年9月20日(土)～21日(日)
第79回 国民スポーツ大会	滋賀県長浜市	令和7年10月3日(金)～6日(月)
第5回 全日本レディース決勝大会(シニアの部)	大阪府大阪市	令和7年10月16日(木)・17日(金)
第20回 ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県宮崎市	令和7年11月21日(金)～24日(月)
第6回 平和カップひろしま国際大会	広島県広島市	令和8年3月14日(土)・15日(日)
第37回 都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市	令和8年3月26日(木)～28日(土)

第 51 回 全日本高校選抜大会	愛知県名古屋	令和 8 年 3 月 28 日 (土) ～ 30 日 (月)
第 25 回 全国小学生大会	千葉県白子町	令和 8 年 3 月 29 日 (日) ～ 31 日 (火)

国際大会	開催地	日程
第 33 回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	中国内モンゴル自治区	令和 7 年 8 月 23 日 (土) ～ 29 日 (金)
第 9 回 アジア選手権大会	韓国 安城市	令和 7 年 9 月 13 日 (土) ～ 23 日 (火)

その他	開催地	日程
第 37 回 ねんりんピック 2025	岐阜県瑞穂市、大垣市	令和 7 年 10 月 18 日 (土) ～ 20 日 (月)

(注) 大会参加者数は 〈別表 33〉に掲載

〈別表 2〉

地域等における競技会開催補助

事業名	補助金額
9 地区選手権大会	9 地区×200,000 円
地区高校選抜大会	9 地区×100,000 円
地区中学選手権大会	9 地区×100,000 円
全日本シニア東西対抗大会	400,000 円
全日本学生同好会大会	200,000 円

〈別表 3〉

ナショナルチーム選手派遣事業(敬称略)

派遣先	期日	派遣選手名
神奈川県	令和 8 年 2 月 15 日 (日)	前田 梨緒、中谷 さくら

〈別表 4〉

技術等級認定者数

(数値:名)

等級	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級	計
令和 7 年度	0	0	104	31	514	17	461	1,665	1,524	2,323	6,639
令和 6 年度	0	2	139	19	397	18	306	1,660	1,455	1,660	5,656

(注) 令和 7 年度都道府県別認定者数は 〈別表 34〉に掲載

〈別表 5〉

公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	マスターレフェリー	41	57	41	55	44	43
	マスターアンパイヤー	80	85	69	68	71	101
	1 級	258	201	214	305	255	224
2 級	新規(一般・高校)	11,455	13,453	15,480	17,421	16,150	15,499
	更新(一般)	5,361	5,857	5,172	5,036	4,899	4,297
	移行(高校)	7,461	7,318	7,887	8,606	7,551	7,634
	ジュニア	24,594	34,879	28,508	38,243	34,113	33,968
	計	61,850	57,371	63,194	63,083	63,083	61,766

(注) 令和 7 年度都道府県別認定者数は 〈別表 35〉に掲載

〈別表 6〉

1 級審判員の検定会・研修会

	実施期日	会場	参加者
検 定 会	令和 7 年 6 月 28 日(土)、29 日(日)	宮崎県・宮崎市清武総合運動公園／宮崎市民プラザ	41 名
	令和 7 年 11 月 29 日(土)、30 日(日)	長野県・南長野運動公園体育館／総合球技場会議室	68 名
	令和 8 年 1 月 24 日(土)	埼玉県・埼玉県スポーツ総合センター	33 名
研 修 会	令和 7 年 12 月 7 日(日)	北海道・江別市民体育館	10 名
	令和 7 年 12 月 7 日(日)	徳島県・徳島県立徳島商業高等学校	8 名
	令和 8 年 1 月 11 日(日)	宮崎県・新富町総合交流センター／新富町体育館	29 名
	令和 8 年 1 月 18 日(日)	滋賀県・希望が丘文化公園テニスコート	29 名
	令和 8 年 1 月 24 日(土)	埼玉県・埼玉県スポーツ総合センター	42 名
	令和 8 年 1 月 24 日(土)	富山県・富山県総合体育センター	3 名
	令和 8 年 1 月 25 日(日)	山口県・周南市 学び・交流プラザ	7 名
	令和 8 年 1 月 31 日(土)	岩手県・北上総合体育館	45 名
	令和 8 年 1 月 31 日(土)	愛知県・邦和セミナープラザ&邦和みなとスポーツ&カルチャー	17 名

〈別表 7〉

ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等

(数値:冊/枚)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	ソフトテニス ルールブック	採点票	オーダー票	イエローカード等	ジュニア審判 マニュアル
令和 7 年度	18,324	9,870	2,734	960	28,194	50
令和 6 年度	21,564	—	3,130	985	21,644	—

〈別表 8〉

公認事業者名(用具用品)

	対象	公認メーカー
用具用品	ラケット 6 社	ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・アルペン・落合コーポレーション
	ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
	ネット 11 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス 高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ・川島商事
	ストリング 4 社	ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・トアルソン
	ユニフォーム 6 社	ミズノ・ヨネックス・昭和ホールディングス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業
	シューズ 7 社	ミズノ・ヨネックス・アシックスジャパン・グローブライド・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・アルペン
施設・製造	砂入り人工芝 製造業者 6 社	住友ゴム工業・積水樹脂・東レアムテックス・アストロスポーツ・大嘉産業・泉州敷物

〈別表 9〉

ラケットの証紙およびネット証布の発行

(数値:枚)

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ラケット証紙	237,580	331,570	289,110	288,350	284,270	227,025
ネット証布	2,200	2,550	3,050	1,700	2,500	1,800

〈別表 10〉

競技者育成プログラム Step-3

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	カテゴリー別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	総計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	9/5～9/7	70 人	7 人	28 人	2 人	4 人	2 人	113 人
関 東 (埼玉県・熊谷市)	8/29～8/31	79 人	8 人	32 人	2 人	4 人	2 人	127 人

北信越（福井県・福井市）	8/29～8/31	50人	5人	15人	2人	4人	2人	78人
東海（三重県・鈴鹿市）	8/23～8/24	40人	5人	15人	2人	4人	2人	68人
近畿（和歌山県・和歌山市）	8/23～8/24	60人	6人	24人	2人	4人	2人	98人
中国（岡山県・岡山市）	8/29～8/31	50人	5人	20人	2人	4人	2人	83人
四国（愛媛県・今治市）	8/23～8/24	40人	4人	16人	2人	4人	2人	68人
九州（鹿児島県・鹿児島市）	8/29～8/31	80人	8人	31人	2人	4人	2人	127人
合 計		469人	48人	181人	16人	32人	16人	762人

〈別表 11〉

(1) 日本代表チームおよびナショナルチーム(男子・女子)強化合宿

			期 日	スタッフ	選手	会場
日本代表		1☆	令和7年5月29日(木)～6月3日(火)	11	19	広島県・福山市
		2	令和7年年6月23日(月)～6月28日(土)	7	16	韓国・聞慶市
		3☆	令和7年8月2日(土)～8月10日(日)	13	14	北海道・北広島市
		4☆	令和7年8月18日(月)～20日(水)	10	12	宮城県・仙台市
		5☆	令和7年9月9日(火)～12日(金)	11	15	宮城県・仙台市
ナショナル	男子	1☆	令和7年4月13日(日)～4月18日(金)	5	15	宮城県・仙台市
		2★	令和8年2月16日(月)～2月20日(金)	8	16	広島県・広島市
	女子	1☆	令和7年4月13日(日)～4月18日(金)	5	15	宮城県・仙台市
		2☆	令和8年2月16日(月)～2月20日(金)	8	15	広島県・広島市

(2) 全日本 U-14.U-17.U-21 強化合宿

			期 日	スタッフ	選手	会場
男子	U-21	1☆	令和7年4月15日(火)～4月18日(金)	3	9	宮城県・仙台市
		2☆	令和7年9月24日(水)～26日(金)	3	9	東京都・江東区
		3☆	令和7年10月14日(火)～16日(木)	3	10	東京都・江東区
		4★	令和8年2月16日(月)～2月19日(木)	3	10	広島県・広島市
	U-17	1☆	令和7年4月15日(火)～4月17日(木)	4	18	宮城県・仙台市
		2 (日韓中前)	令和7年8月21日(木)～8月22日(金)	3	6	東京都・江東区
		3☆	令和7年10月22日(水)～10月24日(金)	3	9	東京都・江東区
		4★	令和8年2月17日(火)～2月20日(金)	3	18	広島県・広島市
女子	U-21	1☆	令和7年5月14日(水)～5月16日(金)	5	12	宮崎県・宮崎市
		2☆	令和7年10月14日(火)～10月16日(木)	4	12	東京都・江東区
		3☆	令和8年2月15日(日)～2月18日(水)	5	13	広島県・広島市
	U-17	1☆	令和7年4月5日(土)～4月8日(火)	6	14	東京都・江東区
		2☆	令和7年5月14日(水)～5月16日(金)	3	14	宮崎県・宮崎市
		3 (日韓中前)	令和7年8月21日(木)～8月22日(金)	3	6	東京都・江東区
		4	令和8年2月15日(日)～2月18日(水)	3	12	広島県・広島市
	U-14	1☆	令和7年5月19日(月)～5月22日(木)	5	20	福島県・棚倉町
		2	令和8年2月15日(日)～2月18日(水)	3	19	広島県・広島市

(注1) ☆印は(公財)日本オリンピック委員会、★印はヨネックス振興財団の補助事業である。
(JOC 選手強化事業 20,700,000 円、ヨネックス振興財団 850,000 円)

〈別表 12〉

強化スタッフ・強化選手の国際大会派遣

大会名	開催地	派遣期間
2025 チャイナカップ	中国・浙江省台州市	令和7年5月20日(火)～5月27日(火)
2025 仁川コリアカップ	韓国・仁川市	令和7年6月16日(月)～6月23日(月)
第33回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	中国・内モンゴル自治区包頭市	令和7年8月22日(金)～8月29日(金)
第9回 アジア選手権大会	韓国・聞慶市	令和7年9月12日(金)～9月22日(月)
第2回アジアジュニア選手権大会	インド・パンジャブ州 ルディアナ	令和8年2月2日(月)～2月10日(火) *ニパウイルス感染症拡大のため派遣中止
第2回アジア大学選手権大会	タイ・パトゥムターニー県	令和8年3月26日(木)～3月29日(日)

〈別表 13〉

国際大会への選手派遣 (敬称略)

大会名	第19回チャイナカップ
開催国	中華人民共和国・浙江省台州市
期日	5月20日～27日
派遣者	男子監督/堀晃大(NTT西日本)、女子監督/三浦洋美(Palaistra) トレーナー/市山裕梨(スポーツインテリジェンス株式会社) 男子選手 矢野颯人(NTT西日本)、片岡暁紀(日本体育大学)、黒坂卓矢(日本体育大学) 橋場柊一郎(法政大学)、菊山太陽(法政大学) 女子選手 根岸楓英奈(東芝姫路)、天間麗奈(東北高校)、佐藤日香莉(東芝姫路) 天間美嘉(日本体育大学)、左近知美(日本体育大学)
参加国	日本、中国、韓国、タイ、マレーシア、北朝鮮
成績	国別対抗戦 男子優勝、女子優勝 シングルス男子 優勝 橋場柊一郎 2位 黒坂卓矢 3位 矢野颯人、菊山太陽 シングルス女子 優勝 天間麗奈 3位 佐藤日香莉 ダブルス男子 優勝 片岡暁紀・菊山太陽 ダブルス女子 優勝 天間美嘉・左近知美 3位 佐藤日香莉・根岸楓英奈 ミックスダブルス 優勝 天間美嘉・菊山太陽 2位 天間麗奈・黒坂卓矢 3位 橋場柊一郎・佐藤日香莉、矢野颯人・左近知美
大会名	2025 仁川コリアカップ
開催国	大韓民国・仁川(インチョン)広域市
期日	6月15日～23日
派遣者	男子監督/篠原秀典(日本体育大学)、女子監督/佐藤英宣(トヨタ自動車株式会社) 男子コーチ/増田健人(和歌山県庁)、女子コーチ/三浦洋美(Palaistra) 男子トレーナー/兼平智孝(H-Field Sports Performance Center) 女子トレーナー/市山裕梨(スポーツインテリジェンス株式会社) マネージャー/川上晃司(スポーツインテリジェンス株式会社) 男子選手/上松俊貴(NTT西日本)、内本隆文(NTT西日本)、内田理久(NTT西日本) 上岡俊介(Up Rise)、丸山海斗(one team)、黒坂卓矢(日本体育大学) 女子選手/天間麗奈(東北高校)、宮前希帆(ワタキューセイモア)、前田梨緒(明治大学)

参加国 成績	中谷さくら(明治大学)、前川愛生(広島翔洋高校)、左近知美(日本体育大学) 浪岡菜々美(ナガセケンコー)、佐藤日香莉(東芝姫路) 日本、韓国、中国、中華台北、パキスタン、インド、モンゴル、カンボジア、フィリピン、タイ、ベトナム 国別対抗戦 男子優勝、女子優勝 シングルス男子 優勝 上松俊貴 2位 上岡俊介 3位 内本隆文 シングルス女子 優勝 天間麗奈 2位 前田梨緒 3位 左近知美 ダブルス男子 優勝 上松俊貴・黒坂卓矢 3位 内本隆文・内田理久 ダブルス女子 優勝 前田梨緒・中谷さくら ミックスダブルス 優勝 上松俊貴・前田梨緒
大会名 開催国 期日 派遣者	第33回 日・韓・中ジュニア交流競技会 中華人民共和国・内モンゴル自治区包頭(パオトウ)市 8月22日～29日 男子監督/松口友也(LIFE BOOST) 女子監督/高橋茂(清明学園中学校) トレーナー/北村壘(株式会社スポーツセーフティー総合研究所) 男子選手 植田璃音(高田商業高校)、福田喜大(上宮高校)、南龍之介(三重高校) 竹内慶悟(三重高校)、塚本光琉(岡崎城西高校)、木本琉偉(明徳義塾高校) 女子選手 中谷ももこ(須磨学園高校)、竹田羽花(昇陽高校)、山口優菜(宮崎商業高校) 起田亜旺(三重高校)、西村ひよ(京都光華高校)、中山萌(東北高校)
参加国 成績	日本、韓国、中国 国別対抗戦 男子優勝、女子優勝
大会名 開催国 期日 派遣者	第9回アジアソフトテニス選手権大会 大韓民国・聞慶(ムンギョン)市 9月12日～22日 団長/高井志保(日本ソフトテニス連盟理事*強化委員長) 男子監督/篠原秀典(日本体育大学) 女子監督/佐藤英宣(トヨタ自動車株式会社) 男子コーチ/堀晃大(NTT西日本)、増田健人(和歌山県庁) 女子コーチ/三浦洋美(Palaistra)、菅野創世(川口市役所) 男子トレーナー/兼平智孝(H-Field Sports Performance Center) 女子トレーナー/市山裕梨(スポーツインテリジェンス株式会社) マネージャー/川上晃司(スポーツインテリジェンス株式会社) 男子選手 上岡俊介(Up Rise)、丸山海斗(one team)、上松俊貴(NTT西日本)、 内本隆文(NTT西日本)、内田理久(NTT西日本)、広岡宙(NTT西日本) 女子選手 前田梨緒(明治大学)、中谷さくら(明治大学)、宮前希帆(ワタキューセイモア)、 天間麗奈(東北高校)、岩倉彩佳(どんぐり北広島)、前川愛生(広島翔洋高校)
参加国 成績	日本、韓国、中国、中華台北、イラン、マレーシア、タジキスタン、フィリピン、モンゴル、カンボジア、 ベトナム、インドネシア、パキスタン、タイ、インド、ニュージーランド、カザフスタン、スリランカ、 ジョージア、ブータン、東ティモール、ウズベキスタン、ネパール、サイパン 国別対抗戦 男子優勝、女子優勝 シングルス男子 優勝 上松俊貴 シングルス女子 優勝 天間麗奈 3位 岩倉彩佳 ダブルス男子 優勝 内本隆文・上松俊貴 2位 上岡俊介・丸山海斗

	ダブルス女子 優勝 前田梨緒・中谷さくら 3 位 前川愛生・宮前希帆 ミックスダブルス 2 位 丸山海斗・天間麗奈 3 位 上松俊貴・前田梨緒
大会名	第 2 回アジアジュニアソフトテニス選手権大会
開催国	インド・パンジャブ州ルディアナ
期日	2 月 2 日～10 日
派遣	団長/増木博一(日本ソフトテニス連盟理事*審判委員長)
予定者	男子監督/松口友也(LIFE BOOST) 女子監督/武元望美(文化学園大学杉並高校) 男子トレーナー/溝口英二(ONE for ALL) 女子トレーナー/村田 南(整体サロンふらっと) 男子選手 U-21 根岸滯紋(日本体育大学)、野本凌生(法政大学) U-18 福田喜大(上宮高校)、荻谷侑磨(高田商業高校) U-15 丹羽悠弦(朝日中学校)、東郷翔太(王寺ユースソフトテニスクラブ) 女子選手 U-21 吉木理彩(日本体育大学)、高橋ひかる(日本体育大学) U-18 竹田羽花(昇陽高校)、山口優菜(宮崎商業高校) U-15 加藤美雲(明豊中学校)、松山穂乃香(京都光華中学校)
参加国	中国、インド、ネパール、インドネシア、タイ、カンボジア、東ティモール、モンゴル、ラオス、 ブータン、スリランカ *ニパウイルス感染拡大のため派遣中止
大会名	第 2 回アジア大学ソフトテニス選手権大会
開催国	タイ・パトゥムターニー県
期日	3 月 26 日～29 日
派遣者	監督 佐藤英宣(トヨタ自動車株式会社) トレーナー 高川亜紀(日域整形外科クリニック) 男子選手 浅見竣一郎(早稲田大学)、安達宣(早稲田大学) 女子選手 佐藤心美(早稲田大学)、青松淑佳(明治大学)
参加国	日本、韓国、中華台北、タイ、インド、ラオス
成績	ダブルス女子 3 位 佐藤心美・青松淑佳

〈別表 14〉

強化委員・強化スタッフの大会視察派遣(敬称略)

大会名	派遣者
アジア選手権日本代表予選会	篠原秀典、増田健人、堀晃大、菅野創世、三浦洋美
全日本シングルス選手権大会	篠原秀典、菅野創世、三浦洋美、伊加英隆、高村胡桃
全日本ミックスダブルス選手権大会	篠原秀典、増田健人、佐藤英宣
ハイスクールジャパンカップ	松口友也、高橋茂、高村胡桃
全国中学校大会	合田清志、山崎裕貴、松崎法夫、海江田佐奈美
全日本学生選手権大会	紙森隆弘、小牧幸二、武元望美
ジュニアオリンピックカップ大会	紙森隆弘、武元望美、塩寄弘騎、山崎裕貴、松崎法夫、海江田佐奈美
全日本選手権大会	紙森隆弘、伊加英隆、塩寄弘騎
全日本高校選抜大会	塩寄弘騎
アジア競技大会日本代表予選会	佐藤英宣

〈別表 15〉

評議員会

会議名	期日	開催会場等
定時評議員会	令和7年6月22日(日)	TKP 東京駅大手町カンファレンスセンター ホール22E
臨時評議員会	令和7年6月5日(日)	リモート会議
臨時評議員会	令和7年9月25日(木)	リモート会議
臨時評議員会	令和8年2月15日(日)	リモート会議

〈別表 16〉

理事会

回数	期日	開催会場等
第1回	令和7年4月12日(日)	リモート会議
第2回	令和7年5月28日(水)	リモート会議
第3回	令和7年6月22日(日)	アワーズイン阪急(東京都品川区)
第4回	令和7年7月24日(木)	リモート会議
第5回	令和7年9月11日(木)	リモート会議
第6回	令和7年10月12日(日)	リモート会議
第7回	令和7年12月7日(日)	リモート会議
第8回	令和8年1月17日(土)	リモート会議
第9回	令和8年2月14日(土)	リモート会議
第10回	令和8年3月20日(金)	リモート会議

〈別表 17〉

運営本部会議

回数	期日	開催会場等
第1回	令和7年4月10日(木)	リモート会議
第2回	令和7年4月24日(木)	リモート会議
第3回	令和7年5月8日(木)	リモート会議
第4回	令和7年5月22日(木)	リモート会議
第5回	令和7年5月27日(火)	リモート会議
第6回	令和7年6月19日(木)	リモート会議
第7回	令和7年7月3日(木)	リモート会議
第8回	令和7年7月17日(木)	リモート会議
第9回	令和7年8月7日(木)	リモート会議
第10回	令和7年8月21日(木)	リモート会議
第11回	令和7年9月4日(木)	リモート会議
第12回	令和7年9月11日(木)	リモート会議
第13回	令和7年10月9日(木)	リモート会議
第14回	令和7年10月23日(木)	リモート会議
第15回	令和7年11月13日(木)	リモート会議
第16回	令和7年12月4日(木)	リモート会議
第17回	令和7年12月17日(水)	リモート会議
第18回	令和8年1月8日(木)	リモート会議
第19回	令和8年1月15日(木)	リモート会議
第20回	令和8年1月29日(木)	リモート会議
第21回	令和8年2月13日(金)	リモート会議
第22回	令和8年3月5日(木)	リモート会議
第23回	令和8年3月16日(月)	リモート会議

〈別表 18〉

業務執行理事会議

回数	期日	開催会場等
第 1 回	令和 8 年 3 月 23 日(月)	リモート会議

〈別表 19〉

委員会・部会	開催日					
総務委員会	6/2	6/12	7/14	12/1		
財務委員会						
会員登録委員会						
デジタル委員会	4/21	11/21	1/19			
倫理・コンプライアンス委員会	11/27	12/22	2/2			
競技委員会	4/14	3/12				
等級制度部会	10/1					
プログラム編成部会	4/24	5/10	6/14	7/1	8/9	8/30
用具・用品・施設部会	8/31	9/16	9/27	10/11	2/21	
用具・用品・施設部会	4/8	12/17				
審判委員会	7/8	9/9				
強化委員会	6/15	11/8	1/13			
強化スタッフ部会	1/13					
アスリート委員会	12/1					
競技者育成プログラム委員会	4/9	1/14				
指導者育成委員会	4/15	9/22	1/13			
医科学委員会	10/17					
医学部会	12/8					
アンチ・ドーピング部会	12/2					
トレーナー部会	6/20	2/27				
スポーツ科学部会	11/26					
生涯スポーツ委員会						
環境・教育部会						
マーケティングブランニング委員会	2/10					
広報委員会	7/29	8/25	9/24	10/21	3/8	
機関誌部会	4/4	5/9	6/13	7/3	8/1	9/5
機関誌部会	10/10	11/14	12/5	1/9	2/13	3/6
2026 アジア競技大会準備委員会						
スポーツ団体ガバナンスコード推進委員会						
登録人口問題対策委員会	7/1	8/8				
国際委員会						
指導基本規程違反救済審査委員会						

〈別表 20〉

会計監査

対象	期日	会場
公認会計士 監査	令和 7 年 5 月 18 日	日本ソフトテニス連盟事務局
	令和 7 年 5 月 19 日	日本ソフトテニス連盟事務局
日本連盟監事 監査	令和 7 年 5 月 23 日	日本ソフトテニス連盟事務局

〈別表 21〉

会員登録数(10 年間の推移)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和7年度	11,175	39,577	13,668	202,198	64,728	689	6,916	338,951
令和6年度	12,236	39,676	13,954	204,101	63,042	833	6,316	340,158
令和5年度	12,366	39,897	14,240	207,286	61,917	909	6,253	342,868
令和4年度	10,770	40,233	14,484	206,153	67,207	841	6,669	346,357
令和3年度	11,300	41,364	15,566	225,592	72,367	868	7,256	374,313
令和2年度	10,763	40,388	15,163	169,625	62,730	702	6,408	305,779
令和元年度	11,713	44,799	18,101	247,103	79,834	933	7,591	410,074
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,099	83,464	1,014	7,614	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618

(注)都道府県別会員数は〈別表 36〉に掲載。

〈別表 22〉

会員登録料

(単位:円)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和 7 年度	22,350,000	79,154,000	6,834,000	101,099,000	64,728,000	689,000	6,916,000	281,770,000
令和 6 年度	12,236,000	39,676,000	6,977,000	102,050,500	31,521,000	416,500	3,158,000	196,035,000

〈別表 23〉

維持会費 公認メーカー23 社:延 37 社(前年度 36 社)

(単位:円)

	ラケット	ボール	ネット	ストリング	ユニフォーム	シューズ
令和 7 年度	6 社 600,000	3 社 6,210,000	11 社 1,100,000	4 社 2,640,000	6 社 6,960,000	7 社 3,360,000
令和 6 年度	6 社 600,000	3 社 6,210,000	10 社 1,000,000	4 社 2,640,000	6 社 6,960,000	7 社 3,360,000

〈事業者名〉

用具・用品	公認メーカー
ラケット 6 社	ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・アルペン・落合コーポレーション
ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
ネット 11 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ・川島商事
ストリング 4 社	ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・トアルソン
ユニフォーム 6 社	ミズノ・ヨネックス・昭和ホールディングス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業
シューズ 7 社	ミズノ・ヨネックス・アシックスジャパン・グローブライド・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・アルペン

〈別表 24〉

維持会費 施設業者 6 社:延べ 6 社(前年度 6 社)

(単位:円)

年 度	砂入り人工芝
令和 7 年度	6 社 3,000,000
令和 6 年度	6 社 3,000,000

〈事業者名〉

施設・製造	業 者 名
砂入り人工芝製造業者 6 社	住友ゴム工業・積水樹脂・東レアムテックス・アストロスポーツ・大嘉産業・泉州敷物

〈別表 25〉

維持会費 一般 83 件、計 1,150,000 円 (前年度 90 件 計 1,270,000 円) (単位:円) (敬称略)

50,000	安道 光二	京都						
30,000	ナガセケンコー株式会社	大島 洋子	東京					
20,000	株式会社秋場徽章	株式会社共同写真企画	共和株式会社	株式会社ゴーセン				
	しゅくみねっと株式会社	大嘉産業株式会社	ティエヌネット株式会社	丸菱産業株式会社				
	ミズノ株式会社	三田ソフトテニス倶楽部	明宏印刷株式会社	豊貿易株式会社				
	株式会社ルーセント							
	栃木県ソフトテニス連盟	埼玉県ソフトテニス連盟	長野県ソフトテニス連盟	石川県ソフトテニス連盟				
	静岡県ソフトテニス連盟	奈良県ソフトテニス連盟	和歌山県ソフトテニス連盟	山口県ソフトテニス連盟				
	沖縄県ソフトテニス連盟	佐伯 善春	佐賀	山岸 慎司	東京			
10,000	天野 晴夫	三重	安藤 正美	香川	五十嵐 象平	北海道	石岡 重光	京都
	石川 雅利	千葉	井上 清一	石川	井上 創	兵庫	今井 誠則	広島
	漆畑 勝之	静岡	大津 竜二	愛知	大前 秀樹	広島	小川 信也	岐阜
	小田 宗雄	熊本	香川 翔	香川	笠井 達夫	神奈川	加藤 育広	秋田
	神崎 公宏	三重	蒲原 英敏	広島	菊間 路人	東京	木下 道夫	東京
	木原 晴彦	広島	小原 信幸	岡山	斉藤 元三	愛知	篠邊 保	愛知
	佐藤 栄一	群馬	佐藤 敬治	岡山	佐藤 健司	東京	重田 衛	千葉
	白水 厚二	大分	鈴木 敏行	千葉	高野 健二	茨城	竹内 英高	愛知
	多田 光廣	香川	谷岡 美貴	東京	津田 誠	愛知	永井 茂樹	石川
	中村 進	埼玉	西村 信寛	東京	額賀 富雄	茨城	笛岡 宣明	愛知
	古川 忠志	千葉	星野 博	東京	堀越 浩	千葉	本田 茂雄	宮城
	宮下 恭子	大阪	母谷 龍典	広島	森田 賢二	兵庫	柳下 秋久	東京
	山下 晴海	埼玉	山本 悦子	愛知	山本 毅	京都	横田 南	埼玉
	横山 隆二	東京	吉川 豊	和歌山	吉田 敏彦	岡山	萬 正一	秋田

〈別表 26〉

補助金 合計額 22,332,000 円 (前年度 15,329,000 円) (単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	20,700,000
	強化活動の DX 促進支援事業	1,094,000
	民間スポーツ振興費等補助	538,000

〈別表 27〉

助成金 合計額 60,719,320 円 (前年度 57,250,071 円) (単位:円)

(独法)日本スポーツ振興センター (スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会)	6,000,000
	競技会開催(全日本ジュニア選手権大会)	1,397,000
	小計	7,397,000
(独法)日本スポーツ振興センター (スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3)	40,881,000
	ドーピング防止啓発活動推進	1,163,000
	ドーピング検査	52,000
	組織基盤強化事業	900,000

	小計	42,996,000
国民スポーツ大会実行委員会	国民スポーツ大会役員旅費	1,026,320
(公財)ヨネックススポーツ財団	若手強化選手育成のメディカルチェック(TSC)	750,000
	国際交流普及助成事業	2,000,000
	令和 8 年ナショナルチーム・全日本アンダー男子 合同強化合宿	850,000
	能登半島地震復興支援助成事業	1,000,000
	ジュニアスポーツ振興助成事業	1,000,000
	ジュニアスポーツ振興に関する助成金	700,000
(公財)ミズノスポーツ振興財団	地域スポーツの普及振興に対する助成	3,000,000

〈別表 28〉

交付金 合計額 3,459,400 円 (前年度 3,527,750 円) (単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金(強化事業)	3,194,000
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金	198,400
	スポーツ指導者育成交付金	67,000

〈別表 29〉

委託金 合計額 2,858,190 円 (前年度 2,686,700 円) (単位:円)

(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ委託金	834,382
	公認コーチ 3 養成講習会委託金	536,596
	公認コーチ 4 養成講習会委託金	1,487,212

〈別表 30〉

協賛金 合計額 28,578,000 円(前年度 22,450,000 円) (単位:円)

ヨネックス(株) オフィシャルサプライヤー協賛金(ユニフォーム、ストリング)	17,000,000
ナガセケンコー(株) オフィシャルサプライヤー協賛金(大会使用球)	1,000,000
(株)ルーセント オフィシャルサプライヤー協賛金(大会使用球)	1,000,000
住友ゴム(株) オフィシャルサプライヤー協賛金(大会使用球)	1,000,000
(株)ミズノ 全日本インドア選手権大会協賛金	250,000
アキム 株式会社 ブロンズスポンサー料	1,100,000
青木フルーツ株式会社 ブロンズスポンサー料	550,000
株式会社 エフエーエス ブロンズスポンサー料	1,100,000
株式会社 ゴーセン 全日本選手権大会コートスポンサーボード	550,000
株式会社ルーセント 全日本選手権大会コートスポンサーボード	550,000
住友ゴム工業株式会社 全日本選手権大会コートスポンサーボード	550,000
ミズノ株式会社 全日本選手権大会コートスポンサーボード	330,000
ナガセケンコー株式会社 全日本選手権大会コートスポンサーボード	220,000
株式会社マンダム 全日本選手権大会コートスポンサーボード	1,100,000
アキム株式会社 全日本選手権大会コートスポンサーボード	220,000
株式会社ヨシザワ 全日本選手権大会コートスポンサーボード	220,000
株式会社エフエーエス 全日本選手権大会コートスポンサーボード	220,000
川島商事株式会社 公認料	1,000,000

第 80 回天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会プログラム広告スポンサー	200,000
第 80 回天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会応援パートナー	418,000

〈別表 31〉

寄付金 合計額 2,490,000 円 (前年度 1,900,000 円) (単位:円)

安道カップチャリティゴルフ (ソフトテニス強化事業への寄付)	200,000
100 周年記念式典寄付	1,750,000
第 80 回天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会寄付金	540,000

(敬称略)

〈別表 32〉

傷害補償制度の給付金対象件数

37 件、1,251,000 円給付した。(前年度:17 件 645,000 円) (単位:件)

年度	アキレス腱断裂	骨折	靱帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
令和 7 年度	11	9	3	6	3	5	0	37
令和 6 年度	5	3	2	2	1	4	0	17

〈内訳〉

(単位:件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	11	0	0	0	0	0	11
骨折	8	0	0	1	0	0	9
靱帯損傷	3	0	0	0	0	0	3
肉離れ	6	0	0	0	0	0	6
捻挫	3	0	0	0	0	0	3
その他	5	0	0	0	0	0	5
死亡	0	0	0	0	0	0	0
計	36	0	0	0	0	0	37

〈別表33〉
大会一覧表

月	日	大会名	会場	種別	参加者数
4	26・27	第9回 アジア選手権大会日本代表予選会	仙台市青葉山公園庭球場	男子ダブルス	48
				女子ダブルス	42
					90 (単位:ペア)
5	17・18	第32回 全日本シングルス選手権大会	宮崎県宮崎市 宮崎市生目の杜運動公園テニスコート 宮崎市清武総合運動公園テニスコート	男子シングルス	288
				女子シングルス	262
				計	550 (単位:人)
6	14・15	第6回 全日本ミックスダブルス選手権大会	広島県広島市、安芸郡、福山市 広島翔洋テニスコート 福山市竹ヶ端運動公園テニスコート 海田総合公園テニスコート	一般	135
				35歳	46
				45歳	50
				50歳	65
				55歳	87
				60歳	76
				65歳	59
				70歳	47
				計	565 (単位:ペア)
7	25～27	男子第70回・女子第69回 全日本実業団選手権大会	青森県青森市 新青森県総合運動公園テニスコート	男子団体	118
				女子団体	21
				計	139 (単位:チーム)
8	7/31～8/3	第42回 全日本小学生選手権大会	茨城県神栖市 神栖市海浜運動公園テニスコート	男子団体	48
				女子団体	48
				計	96 (単位:チーム)
				男子ダブルス	191
				女子ダブルス	191
	30・31	第53回 全日本社会人選手権大会	北海道苫小牧市、室蘭市、札幌市 苫小牧市緑ヶ丘庭球場 室蘭市IRIE大同電設テニスコート 札幌市円山庭球場	一般男子ダブルス	283
				一般女子ダブルス	96
				男子ダブルス35	92
				女子ダブルス35	18
				男子ダブルス45	54
				女子ダブルス45	26
				計	569 (単位:ペア)
	13～15	全日本中学生クラブ選手権プレ大会	千葉県白子町 千葉県白子町サニーコート他	男子団体	38
				女子団体	48
				計	86 (単位:チーム)
9	20・21	第29回 全日本シニア選手権大会	兵庫県神戸市/京都府福知山市、舞鶴市 神戸総合運動公園テニスコート しあわせの村テニスコート 三段池科研電機 東舞鶴公園テニスコート	男子ダブルス50	99
				女子ダブルス50	39
				男子ダブルス55	131
				女子ダブルス55	68
				男子ダブルス60	108
				女子ダブルス60	49
				男子ダブルス65	95
				女子ダブルス65	51
				男子ダブルス70	81
				女子ダブルス70	39
				男子ダブルス75	53
				女子ダブルス75	27
				男子ダブルス80	30
				女子ダブルス80	31
				計	901 (単位:ペア)

10	18・19	JOCジュニアオリンピックカップ 第32回 全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市 広島翔洋テニスコート	男子シングルス(U-14)	21
				女子シングルス(U-14)	23
				男子シングルス(U-17)	36
				女子シングルス(U-17)	37
				男子シングルス(U-20)	29
				女子シングルス(U-20)	22
				計	168 (単位:人)
				男子ダブルス(U-14)	10
				女子ダブルス(U-14)	11
				男子ダブルス(U-17)	17
				女子ダブルス(U-17)	18
				男子ダブルス(U-20)	16
				女子ダブルス(U-20)	12
				計	84 (単位:ペア)
	24～26	第3回 STリーグⅡ	京都府福知山市 福知山市三段池科研電機テニスコート	男子団体	32
				女子団体	12
				計	44 (単位:チーム)
	25・26	第32回 全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町 千葉県白子町サニーテニスコート	男子団体	222
				女子団体	52
				計	274 (単位:チーム)
11	6～8	第80回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	東京都江東区 有明テニスの森公園ハードコート 有明コロシアム	男子ダブルス	196
				女子ダブルス	182
				計	378 (単位:ペア)
12	11～14	第3回 STリーグ	栃木県宇都宮市 日環アリーナ栃木	男子団体	8
				女子団体	7
				計	15 (単位:チーム)
	19～21	STリーグ／プレーオフ	広島県福山市 ユフビコアリーナふくやま	男子団体	5
				女子団体	4
				計	9 (単位:チーム)
2	8	第71回 全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市 Asueアリーナ大阪	男子ダブルス	12
				女子ダブルス	12
				計	24 (単位:ペア)
3	20～22	第20回 アジア競技大会日本代表予選会	福島県棚倉町 テニスパーク棚倉	男子シングルス	51
				女子シングルス	52
				計	103 (単位:人)
	26～28	第37回 都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市 三重県営サンアリーナ 三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館 伊勢市市営庭球場	男子団体	48
				女子団体	48
				計	96 (単位:チーム)
				男子ダブルス	144
				女子ダブルス	144
				計	288 (単位:ペア)
				男子シングルス	96
				女子シングルス	96
				計	192 (単位:人)
	29～31	第25回 全国小学生大会	千葉県白子町 千葉県白子町サニーテニスコート	男子4年生以下ダブルス	180
				女子4年生以下ダブルス	175
				男子5年生ダブルス	175
				女子5年生ダブルス	180

			計	710 (単位:ペア)
			男子6年生シングルス	92
			女子6年生シングルス	92
			計	184 (単位:人)

月	日	共催大会名	会場	種別	参加者数		
6	18～22	第54回 ハイスクールジャパンカップ	北海道札幌市 札幌市円山庭球場	男子ダブルス	72		
				女子ダブルス	72		
				計	144 (単位:ペア)		
				男子シングルス	64		
				女子シングルス	64		
				計	128 (単位:人)		
7	5・6	西日本シニア選手権大会	和歌山県和歌山市、白浜町 つつじが丘テニスコート 白浜町テニスコート	シニア男50	50		
				シニア女50	24		
				シニア男55	56		
				シニア女55	50		
				シニア男60	69		
				シニア女60	49		
				シニア男65	64		
				シニア女65	56		
				シニア男70	53		
				シニア女70	42		
				シニア男75	33		
				シニア女75	24		
				シニア男80	15		
				シニア女80	20		
				計	605 (単位:ペア)		
	12・13	第79回 西日本選手権大会	奈良県明日香村/京都府宇治市 奈良県立橿原公苑明日香庭球場 山城総合運動公園(太陽が丘)	一般男子	239		
				一般女子	114		
				男子35	59		
				女子35	18		
				男子45	56		
女子45				30			
計				516 (単位:ペア)			
19・20	第80回 東日本選手権大会	富山県富山市、高岡市、小矢部市、 魚津市 岩瀬スポーツ公園テニスコート 高岡スポーツコアテニスコート 小矢部運動公園テニスコート 魚津桃山運動公園テニスコート	一般男子	284			
			一般女子	171			
			男子35	58			
			女子35	16			
			男子45	42			
			女子45	18			
			シニア男子50	42			
			シニア女子50	23			
			シニア男子55	47			
			シニア女子55	19			
			シニア男子60	47			
			シニア女子60	23			
			シニア男子65	41			
			シニア女子65	35			
						シニア男子70	43
						シニア女子70	36
						シニア男子75	31
						シニア女子75	22
シニア男子80	17						
シニア女子80	19						

			計	1,034 (単位:ペア)
24～31	全日本高等学校選手権大会 男子 7月24日(木)～27日(日) 女子 7月28日(月)～31日(木)	山口県宇部市 宇部市中央公園テニスコート	女子個人	318
			計	318 (単位:ペア)
			女子団体	48
			計	48 (単位:チーム)
			男子個人	316
			計	316 (単位:ペア)
			男子団体	48
			計	48 (単位:チーム)
26・27	第52回 全日本レディース大会(個人戦)	三重県四日市市、鈴鹿市 他 四日市テニスセンター 四日市ドーム 三滝テニスコート 鈴鹿スポーツガーデン 津市民テニスコート	ふじ(初心者)	39
			すみれ(満18歳以上)	33
			ばら(35歳以上)	24
			ゆり(45歳以上)	89
			きく(55歳以上)	86
			あやめ(60歳以上)	108
			はぎ(65歳以上)	123
			さつき(70歳以上)	124
			さくら(75歳以上)	84
			もも(80歳以上)	56
			らん(85歳以上)	15
			計	781 (単位:ペア)
8	19～21 第56回 全国中学校大会	熊本県熊本市 パークドーム熊本	男子個人	64
			女子個人	64
			計	128 (単位:ペア)
			男子団体	25
			女子団体	25
			計	50 (単位:チーム)
	20～22 第47回 全日本レディース決勝大会 (団体戦)	福島県会津若松市 会津総合公園テニスコート	都道府県対抗	42
			計	42 (単位:チーム)
	29～9/3 2025 全日本学生選手権大会 第79回 文部科学大臣杯(大学対抗) 第80回 三笠宮賜杯(ダブルス) 全日本学生シングルス選手権大会	千葉県千葉市 千葉県総合スポーツセンター庭球場 青葉の森スポーツプラザ庭球場 高浜庭球場 稲毛海浜公園スポーツ施設庭球場 フクダ電子ヒルスコート 四街道総合公園庭球場	男子大学対抗	90
			女子大学対抗	65
			計	155 (単位:チーム)
			男子ダブルス	567
			女子ダブルス	352
			計	919 (単位:ペア)
			男子シングルス	90
			女子シングルス	84
			計	174 (単位:人)
9	20・21 日本スポーツマスターズ2025	愛媛県今治市 今治市営スポーツパークテニスコート	都道府県対抗	30
			計	30 (単位:チーム)
10	3～6 第79回 国民スポーツ大会	滋賀県長浜市 長浜城テニスガーデン(長浜市民庭球場)	少年男子	21
			少年女子	24
			成年男子	16
			成年女子	47
			計	108 (単位:チーム)

	16・17	第5回 全日本レディースソフトテニスシニア決勝大会	大阪府大阪市 マリンテニスパーク・北村	都道府県対抗	44
				計	44 (単位:チーム)
11	21～24	第20回 ジュニアジャパンカップ (競技者育成プログラムStep4)	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート 宮崎市清武総合公園	男子シングルス(U-14)	35
				女子シングルス(U-14)	36
				男子シングルス(U-17)	35
				女子シングルス(U-17)	36
				計	142 (単位:人)
				男子ダブルス(U-14)	18
				女子ダブルス(U-14)	18
				男子ダブルス(U-17)	18
				女子ダブルス(U-17)	18
				計	72 (単位:ペア)
3	14・15	第6回 平和カップひろしま国際大会	広島県広島市 広島翔洋テニスコート 瀬野川公園テニスコート、佐伯運動公園	男子団体	130
				女子団体	49
				計	179 (単位:チーム)
	28～30	第51回 全日本高校選抜大会	愛知県名古屋市 NGKスポーツプラザ(日本ガイシスポーツプラザ)	男子団体	36
				女子団体	36
				計	72 (単位:チーム)

技術等級認定実績

令和8年3月31日現在

加盟団体		名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1	北海道	0	0	2	0	23	0	5	41	8	11	90
2	青森県	0	0	0	0	5	0	1	3	15	26	50
3	岩手県	0	0	0	0	9	1	6	25	6	48	95
4	宮城県	0	0	6	0	8	0	2	14	14	2	46
5	秋田県	0	0	1	0	7	1	13	14	30	0	66
6	山形県	0	0	1	0	5	0	9	6	38	71	130
7	福島県	0	0	2	0	4	1	3	19	52	19	100
8	茨城県	0	0	0	0	12	0	6	73	22	141	254
9	栃木県	0	0	0	1	5	0	10	35	33	41	125
10	群馬県	0	0	2	1	11	0	6	45	24	82	171
11	埼玉県	0	0	4	3	25	2	40	118	556	226	974
12	千葉県	0	0	0	1	9	2	4	25	16	149	206
13	東京都	0	0	0	3	13	2	18	26	20	20	102
14	神奈川県	0	0	3	1	29	0	14	61	36	20	164
15	山梨県	0	0	0	0	2	0	8	18	16	38	82
16	新潟県	0	0	1	0	9	0	4	47	8	17	86
17	長野県	0	0	0	0	14	2	9	39	30	28	122
18	富山県	0	0	0	0	3	0	24	43	2	17	89
19	石川県	0	0	2	0	15	0	12	21	23	14	87
20	福井県	0	0	0	0	8	0	4	10	1	32	55
21	静岡県	0	0	0	2	16	0	38	45	7	75	183
22	愛知県	0	0	11	2	25	0	13	53	39	76	219
23	三重県	0	0	0	0	4	0	4	19	17	26	70
24	岐阜県	0	0	1	2	10	1	11	38	34	32	129
25	滋賀県	0	0	0	0	8	1	13	59	20	13	114
26	京都府	0	0	2	2	16	1	12	17	8	21	79
27	大阪府	0	0	5	0	8	2	10	71	4	25	125
28	兵庫県	0	0	3	0	7	1	16	104	19	29	179
29	奈良県	0	0	3	4	18	0	5	46	5	21	102
30	和歌山県	0	0	1	0	17	0	6	22	2	68	116
31	鳥取県	0	0	0	1	4	0	7	13	5	34	64
32	島根県	0	0	0	1	12	0	4	5	7	18	47
33	岡山県	0	0	2	4	10	0	6	66	30	0	118
34	広島県	0	0	5	0	8	0	11	30	35	39	128
35	山口県	0	0	2	1	10	0	11	69	86	301	480
36	徳島県	0	0	0	0	12	0	5	10	12	0	39
37	香川県	0	0	10	0	16	0	10	10	7	12	65
38	愛媛県	0	0	0	1	9	0	7	16	22	83	138
39	高知県	0	0	3	0	9	0	0	10	0	23	45
40	福岡県	0	0	0	1	5	0	3	17	16	4	46
41	佐賀県	0	0	1	0	6	0	2	9	29	6	53
42	長崎県	0	0	1	0	3	0	3	15	23	19	64
43	熊本県	0	0	0	0	15	0	20	119	28	307	489
44	大分県	0	0	0	0	8	0	3	7	23	0	41
45	宮崎県	0	0	0	0	4	0	6	21	47	50	128
46	鹿児島県	0	0	0	0	5	0	12	16	21	31	85
47	沖縄県	0	0	0	0	4	0	2	0	24	7	37
48	日本学連	0	0	30	0	29	0	23	75	4	1	162
合計		0	0	104	31	514	17	461	1,665	1,524	2,323	6,639
前年度		0	2	139	19	397	18	306	1,660	1,455	1,660	5,656

公認審判員認定実績

令和8年3月31日現在

No	加盟団体	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般	高校	一般	高校		
						新規	更新	Jr移行			
1	北海道	1	3	2	4	112	251	135	529	1,687	0
2	青森県	0	0	12	0	42	171	38	57	67	387
3	岩手県	3	0	2	0	104	99	115	417	915	1,655
4	宮城県	0	0	1	4	46	208	83	466	1,337	2,145
5	秋田県	1	0	3	1	53	19	63	194	626	960
6	山形県	0	0	2	1	70	44	45	223	657	1,042
7	福島県	2	1	2	6	85	53	52	394	1,510	2,105
8	茨城県	0	4	0	5	136	626	114	77	118	1,080
9	栃木県	0	0	1	4	97	215	53	231	1,809	2,410
10	群馬県	0	8	2	1	114	193	64	139	204	725
11	埼玉県	4	6	0	10	287	661	338	649	3,163	5,118
12	千葉県	1	3	1	2	151	653	169	365	2,502	3,847
13	東京都	0	35	0	1	199	247	173	59	87	801
14	神奈川県	6	0	0	2	120	194	76	611	5,624	6,633
15	山梨県	1	6	0	4	86	185	46	35	131	494
16	新潟県	0	8	1	5	74	65	23	261	1,203	1,640
17	長野県	1	1	0	3	107	155	126	245	1,280	1,918
18	富山県	0	0	3	0	61	257	41	28	78	468
19	石川県	0	14	7	5	30	0	52	184	607	899
20	福井県	0	0	0	0	11	54	16	26	29	136
21	静岡県	4	8	1	5	194	72	133	460	2,990	3,867
22	愛知県	0	1	3	8	158	860	264	51	226	1,571
23	三重県	2	0	0	4	74	260	37	60	57	494
24	岐阜県	1	0	0	2	112	475	71	97	234	992
25	滋賀県	0	0	5	5	66	411	35	33	46	601
26	京都府	3	0	3	7	51	414	65	33	134	710
27	大阪府	1	0	3	2	122	170	167	24	40	529
28	兵庫県	1	0	6	3	345	90	127	20	303	895
29	奈良県	1	0	3	1	41	245	82	17	29	419
30	和歌山県	0	0	0	2	20	11	70	20	55	178
31	鳥取県	1	0	4	3	29	35	8	48	95	223
32	島根県	0	0	3	0	21	234	20	26	45	349
33	岡山県	0	0	3	7	38	572	28	70	96	814
34	広島県	1	0	0	2	43	738	128	42	66	1,020
35	山口県	1	0	2	1	77	491	81	53	653	1,359
36	徳島県	0	0	0	0	20	124	28	30	50	252
37	香川県	0	0	1	1	20	137	38	40	54	291
38	愛媛県	4	0	0	0	52	69	38	43	273	479
39	高知県	0	0	0	3	17	77	19	17	23	156
40	福岡県	1	2	5	3	103	464	86	112	505	1,281
41	佐賀県	0	1	0	0	24	70	19	177	923	1,214
42	長崎県	0	0	2	3	110	99	56	381	963	1,614
43	熊本県	0	0	0	10	34	68	45	372	1,110	1,639
44	大分県	0	0	0	0	24	95	40	102	910	1,171
45	宮崎県	2	0	2	1	31	159	54	55	225	529
46	鹿児島県	0	0	2	6	67	131	74	47	141	468
47	沖縄県	0	0	0	0	31	56	24	14	88	213
48	日本学連	0	0	0	0	613	0	638	0	0	1,251
合計		43	101	87	137	4,522	10,977	4,297	7,634	33,968	61,766
前年度		44	71	97	158	4,208	11,942	4,899	7,551	34,113	63,083

〈別表36〉

会員登録集計表(令和7年度)

令和8年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	333	253	1,546	65	459	309	5,831	177	2,506	7	82	0	11	811	10,768
青森県	240	82	430	35	175	110	2,237	46	672	1	35	3	2	277	3,791
岩手県	367	97	879	66	397	123	2,518	65	1,121	2	31	2	19	355	5,332
宮城県	136	148	699	45	334	270	3,641	130	1,963	3	12	4	26	600	6,811
秋田県	236	58	527	47	299	89	1,588	40	595	1	0	0	4	235	3,249
山形県	179	75	478	44	273	76	1,859	57	720	1	7	0	0	253	3,516
福島県	305	125	544	74	458	175	4,210	83	1,147	1	29	0	2	458	6,695
茨城県	619	123	851	55	409	237	8,549	114	1,779	1	2	0	4	530	12,213
栃木県	128	87	640	44	364	121	4,845	59	1,110	0	15	0	6	311	7,108
群馬県	218	82	736	41	349	134	4,107	53	880	1	20	0	2	311	6,312
埼玉県	386	415	3,438	107	804	434	15,679	145	3,352	0	1	0	136	1,101	23,796
千葉県	682	160	1,523	61	385	374	13,544	150	2,559	2	5	0	15	747	18,713
東京都	238	298	3,118	51	342	235	4,112	272	3,805	1	0	0	70	857	11,685
神奈川県	434	113	930	38	295	266	15,635	186	2,685	0	0	0	0	603	19,979
山梨県	119	68	412	27	206	51	673	42	611	0	0	0	14	188	2,035
新潟県	207	98	607	46	278	148	2,430	65	913	0	0	1	15	358	4,450
長野県	142	99	1,249	49	311	104	2,619	84	1,174	2	11	0	5	338	5,511
富山県	137	42	339	23	196	81	1,801	33	738	0	0	0	0	179	3,211
石川県	52	61	477	35	254	81	2,373	49	859	0	0	0	6	226	4,021
福井県	39	38	254	11	101	45	643	13	322	0	0	1	15	108	1,374
静岡県	758	203	1,407	75	516	598	9,543	98	1,321	3	15	4	57	981	13,617
愛知県	258	215	2,219	57	617	417	13,946	238	4,550	0	0	0	10	927	21,600
三重県	132	70	498	29	181	154	4,462	58	1,115	1	11	0	2	312	6,401
岐阜県	81	90	830	42	325	342	3,591	69	1,409	0	0	0	3	543	6,239
滋賀県	105	51	351	27	248	160	896	56	1,242	0	0	0	10	294	2,852
京都府	159	87	619	39	275	82	979	68	1,210	0	0	0	15	276	3,257
大阪府	245	106	1,217	23	146	304	9,101	282	2,536	0	0	0	2	715	13,247
兵庫県	289	136	1,501	61	514	398	12,661	290	4,007	4	41	0	5	889	19,018
奈良県	101	40	658	7	61	56	2,107	34	735	0	0	0	0	137	3,662
和歌山県	193	66	595	43	216	139	2,628	37	643	1	24	0	0	286	4,299
鳥取県	50	49	298	20	146	49	621	32	380	1	7	0	0	151	1,502
島根県	98	65	394	25	162	48	1,588	64	720	3	0	0	0	205	2,962
岡山県	140	79	458	41	271	188	4,662	109	1,737	3	0	3	44	423	7,312
広島県	362	190	1,273	30	178	217	4,281	138	2,067	3	44	0	38	578	8,243
山口県	146	103	1,013	37	207	115	2,973	82	1,329	7	95	0	5	344	5,768
徳島県	157	41	339	10	105	89	1,518	23	401	1	25	0	2	164	2,547
香川県	35	41	300	35	166	56	1,696	38	493	3	5	0	4	173	2,699
愛媛県	150	68	550	37	314	129	3,572	81	1,041	4	27	0	0	319	5,654
高知県	56	43	264	13	76	21	473	25	338	1	4	0	3	103	1,214
福岡県	595	156	1,038	43	374	202	5,956	174	2,327	6	42	0	12	581	10,344
佐賀県	171	44	302	35	240	72	1,939	50	630	0	0	0	0	201	3,282
長崎県	403	111	712	41	302	173	2,971	114	1,294	4	21	0	64	443	5,767
熊本県	480	133	753	63	373	152	3,374	61	1,084	3	31	2	7	414	6,102
大分県	120	87	475	21	135	99	1,891	43	570	0	0	2	14	252	3,205
宮崎県	317	92	407	55	379	225	2,327	51	730	0	0	0	1	423	4,161
鹿児島県	292	153	775	87	315	202	2,953	81	967	4	45	0	4	527	5,351
沖縄県	70	108	624	28	137	48	595	47	341	0	2	1	11	232	1,780
日本学連	15	4	30	0	0	0	0	0	0	0	0	610	6,251	614	6,296
合 計	11,175	5,153	39,577	1,988	13,668	8,198	202,198	4,306	64,728	75	689	633	6,916	20,353	338,951
令和6年度	12,236	2,335	39,676	674	13,954	4,340	204,101	2,155	63,042	150	833	370	6,316	10,024	340,158

第80回天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会 協賛・寄付一覧

プログラム広告スポンサー

清水 健司

ソフトテニス公認メーカー会

日本ソフトテニス研究会

大会パートナー

※順不同



mandom^^



応援パートナー (法人・団体)

※順不同

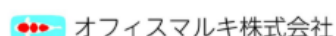


立川市ソフトテニス連盟



新宿区ソフトテニス連盟

江東区ソフトテニス連盟



感謝と笑顔でご奉仕
Ⓐ 東洋観光グループHD 唐津市ソフトテニス協会

応援パートナー (個人)

※順不同

木村 雅一様 (東京都)

Sachi chan様 (神奈川県) 大前 秀樹様 (広島県)

渡辺 靖雄様 (東京都)

萬 正一様 (秋田県)

寄 付 者

北海道ソフトテニス連盟
富山県ソフトテニス連盟
奈良県ソフトテニス連盟
香川県ソフトテニス連盟
岩手県ソフトテニス連盟
群馬県ソフトテニス連盟

静岡県ソフトテニス連盟
愛媛県ソフトテニス連盟
秋田県ソフトテニス連盟
愛知県ソフトテニス連盟
日本学生ソフトテニス連盟

岐阜県ソフトテニス連盟
佐賀県ソフトテニス連盟
三重県ソフトテニス連盟
京都府ソフトテニス連盟
福岡県ソフトテニス連盟

〈別表38〉

創立100 周年記念式典・祝賀会 寄付金一覧

各加盟団体

青森県ソフトテニス連盟	宮城県ソフトテニス連盟	茨城県ソフトテニス連盟	栃木県ソフトテニス連盟	群馬県ソフトテニス連盟
神奈川県ソフトテニス連盟	長野県ソフトテニス連盟	石川県ソフトテニス連盟	静岡県ソフトテニス連盟	三重県ソフトテニス連盟
岐阜県ソフトテニス連盟	滋賀県ソフトテニス連盟	京都府ソフトテニス連盟	山口県ソフトテニス連盟	徳島県ソフトテニス連盟
香川県ソフトテニス連盟	愛媛県ソフトテニス連盟	高知県ソフトテニス連盟	沖縄県ソフトテニス連盟	

市町村協会/連盟およびクラブ

大館市ソフトテニス協会	鹿角市ソフトテニス協会	静岡市ソフトテニス協会	沼津市ソフトテニス協会	三島ソフトテニス協会
備前市ソフトテニス連盟 牛房信夫	大村市ソフトテニス協会	島原市ソフトテニス連盟	湖北ソフトテニスクラブ	橘クラブ
長泉ソフトテニススポーツ少年団	富士雁がねソフトテニスクラブ	富士ファミリーソフトテニスクラブ	井原テニスクラブ	

企業

ワタキューホールディングス(株)	日本基準寝具(株)
------------------	-----------

個人

安道光二	漆畑勝之	大島洋子	大前秀樹	小田宗男
笠井達夫	菊間路人	小林 正	永井茂樹	中島哲弥
本田茂雄	八代醒雅文			

(順不同/敬称略)